

即圖未謀... 直接軍務謀長... 本攻勢... 未遣也... 統帥力ニ對シ各兵團... 一令

本戰團ノ結果軍統帥... 各師團未謀... 謀部ノ空気が...

六 敵ノ攻勢終起

1. 我ガ陣前出撃後彼我共ニ局部的戰闘ノ外... 然レドモ前掲數次ノ不徹底ナル出撃... 蓋シ右戰線ノ集約ハ軍ニ兵刀上ノ問題...

砲爆撃ニ暴露シ陣地保持ニ相當ノ犠牲ヲ拂

之ヲ奪回スルハ其ノ戰術上敢テ困難ニハアラザリシモ第二線ノ新陣地ニ依リ敵ヲ阻止スルニ勝レリトシタルニ依レリ

2. 十八日敵ハ依然攻撃準備ナルモノ、如ク更ニ知念半島方面ニ一部ヲ陽動セシメ上陸ノ徵候ヲ示セリ

3. 敵ハ我至陣地ニ接觸ヲ開始シテヨリ十數日間詳密攻撃準備ヲ行ヒ十九日ニ至リ依然重兵ヲ西海岸道ニ保持シ攻撃ヲ開始ス。猛烈ナル艦砲銃爆撃トハ我ガ行動ヲ制肘スル所大ニシテ逐次陣地ヲ蚕食スルニ至リタリ。第六十二師團及歩兵第三十二聯隊ノ防禦戰闘...

大ノ損害ヲ與ヘ二十三日敵ノ攻勢ハ頓挫セリ  
イ四月十九日朝來湊川正面ニ猛烈ナル艦砲射撃爆發  
ヲ開始シ沖合多數ノ艦船群碇泊シ背面ニ陸ノ企圖ヲ呈  
示ス。北方陸正面ニ於テハ陣内ニ侵入セシ戰車四十五  
輛ヲ擱挫炎上セシムルノ外陣地線著變ナシ

四月二十日我陣地左翼方面ニ對スル敵ノ攻勢ハ遂次  
進展シ夕刻ニ於ケル戰線ハ右中央方面大ナル變化ナク  
30

左翼方面ニ於テ伊祖四四高地湊川附近ニ進出セリ  
八四月三十一日一四一高地ニ我如古ノ嘉敷ヲ確保シ敵進入  
ノ都度之ヲ撃退ス。左翼方面ハ二十日夜夜襲ニヨリ伊  
祖一四八高地線ニ進出セルモ全面的舊陣地ヲ奪回スル  
ニ至ラズ

二四月二十二日二十三日攻防戰ヲ續行セルモ二十三日ニ至リ

敵ノ攻勢ハ頓挫ス

七 敵ノ第一回總攻撃ノ頓挫時ヨリ五月四日攻勢前迄  
ノ軍ノ統帥

一 四月二十三日敵ノ攻勢一應頓挫セルモ我第一線ノ戦力  
亦遂次低下セルヲ以テ此處ニ第二十四師團全カヲ第六  
十二師團ノ右翼ニ並列セントスルヲ謀ル。其ノ詳ハ別紙  
ヲ参照ス。作戰主任參謀ハ依然主として配置ノ改善  
ヲ保持シ戰團ヲ繼續セシムルヲ謀ル。其ノ詳ハ別紙ヲ  
参照ス。

二 敵ノ第二回總攻撃ニ同意シ第二十四師團ヲシテ二十四日ヨ  
リ機動ヲ開始セシメ二十七日概ネ其ノ主力ノ機動ヲ完  
了セリ。爾後敵ハ一部ノ陣地ニ對シ蚕食的攻撃ヲ懷  
ルモ全般ノ大勢變化ナシ

三 四月二十九日爾後軍ノ作戰指導ヲ如何ニスルハキヤニ関

三幕僚會議開催セラレシ  
身ノ状況次ノ如シ

不戰局ノ見達シ

現態勢ヲ以テ推揚セバ組織内作戰ハ幸リト云々頃以

テ終章トス

只彼我ノ損耗判断

彼我損耗大ナルモ敵ノ消耗我ヨリ心算未定ナリ

如キ

公爾後ノ作戰指導

未謀長意見東面

死中活ヲ見出スハ未<sup>猶我ニ</sup>攻勢餘力ヲ有スル間(現在第二

十四師團主力、獨五第四十四旅團尚<sup>敵大</sup>敵第二十四軍

團ニ痛撃ヲ與ヘ戰勢ヲ挽回スルヲ要ストナシ)

作戰主任未謀長意見ハ右ニ全然反對ニシテ包圍專守

防禦思想ニシテ強クノ<sup>議論</sup>言辭有極

且直後ノ傾向ナリ

他人參謀全員八數日病室ニ數日ノ持又時日ノ延引ハ尙

年戰時ノ意義ヲ有セズトシテ攻勢ニ同意ス

此處ニ於テ軍參謀長ハ軍司令官ニ決裁ヲ請ヒ遂ニ五月

四日總攻撃ニ関シ裁決セララル

### 43 攻撃計畫ノ概要

イ、第六十二師團ヲ以テ左翼支撐ヲ堅固ニ保持セシ

ム

ロ、第二十四師團ヲ以テ右翼正面ヨリ攻撃シ普天間

東西ノ線ニ進出セシム

ハ、獨立第四十四旅團ヲ以テ第二十四師團ノ攻撃進

展ニ伴ヒ大山方面ニ攻撃前進セシメ戦果擴張ヲ計ル

一、独立第四十四旅団ノ成果ニ伴ヒ第六十二師団ヲ以テ牧港方面ニ攻勢ニ轉セシム

八、攻撃開始ハ五月四日トシ黎明攻撃ニ依リ敵陣内ニ敢然侵入シ紛戦狀況ニ導ク

之カ爲 三日夜東西海岸ヨリ有力ナル海上挺進隊ヲ派シ敵ノ側背ニ上陸シテ之ヲ攪乱セシム

四、本作戦準備ハ比較的長時間ノ余裕アリシヲ以テ各部隊ノ準備ハ順調ニ實施セラレタリ特ニ左翼支隊タル

第六十二師団方面ハ攻撃準備間或ハ敵ノ攻撃ニ依リ大ナル逼迫ヲ受ケ破綻ヲ来スコトアルヘキヲ憂慮シ

對慮策未開ニ準備ハ不十分アリシモ幸ニ斯ル狀況發

生セサリキ

右ノ如ク本方面ノ準備ハ順調ニ進ミ且參謀部ハ三

二方ヲテ精練果酒糧果相副ニシテ

即チ不戰主任參謀ノ攻勢兵団タル第六十四師団

ヲ第一線攻勢果力ニ大隊 指示指導シ獨立

第三師団旅団 配置 第六十二師団後方ニ配置

此攻勢失敗 際ニ牧拾態勢ヲ計畫的ニ實施シテ

其對ニシテ本參謀不乾伸ニ擲キ攻勢ニ終シ

戦力ノ攻勢ニ便ナクシテ中ニカク失敗後ヲ処置ニ

シテ不戰ニシテアルハ不可シ 且參謀長ニ具申

ヤル等ニ

公望 航空隊第一期飛行思想 是迄

望 航空隊第一期飛行思想 是迄 隊 隊 隊 隊

望 航空隊第一期飛行思想 是迄 隊 隊 隊 隊

望 航空隊第一期飛行思想 是迄

望 航空隊第一期飛行思想 是迄 隊 隊 隊 隊

望 航空隊第一期飛行思想 是迄 隊 隊 隊 隊

望 航空隊第一期飛行思想 是迄 隊 隊 隊 隊

望 航空隊第一期飛行思想 是迄 隊 隊 隊 隊

望 航空隊第一期飛行思想 是迄 隊 隊 隊 隊

望 航空隊第一期飛行思想 是迄 隊 隊 隊 隊

望 航空隊第一期飛行思想 是迄 隊 隊 隊 隊

状況に於ては、東西南海面に遊弋せる戦艦巡洋艦群を  
攻撃す如く、攻撃又

有力な艦隊群が極力有力な直協軍砲兵集団  
見做す之を撃滅せん、依り敵艦力構成を破壊す  
し、得る実果の二出血、効亦、狙は、思ふ所

五月初頭、攻勢時期に於ては、軍の航空部隊が攻撃

直接協力を欲し、航空部隊の攻撃能力を鑑み、前

項を二附加するに、海岸附近軍需品積積、爆弾、地

戦力、直接、根拠を杜絶せしむるに、要望あり

有諸事望、陸海軍、航空諸部隊、於ては、先づ、解

す、即ち、如く、其の作戦、指導、等、を、所望、戦力、

戦力重視せし、多量に於て戦力消費甚し、軍二対

し、協力、実効、果、常、心、を、其、二、

北攻勢開始ト申上、一、團、を、紅、線、過、極、專、

攻勢發揮ノ状況

五月三日夜半海上挺進隊（約一〇〇名）ハ東西両

海岸ヨリ割舟及ソ、一線徒渉ニ依り敵側背ニ挺進ヲ

開始ス

四〇四五ヨリ約三十分ノ攻撃準備時射撃ヲ実施シ、

後〇五三〇攻撃兵團ノ一部ハ翁長東北方、<sup>陣</sup>地ニ突

入シ、九三〇頃ニ至ルヤ概本上原棚原高地ヲ占領セ

リ、軍砲兵隊観測所ヨリノ報告ニ依リハ敵ハ動搖

ノ兆アリテ自動貨車ニ依リ後退スルヲ望見スト

一五〇〇第一線兵團ハ小那覇北側一〇一、三高地

南側一五六、八高地南側一五四高地附近ニ進出  
セリ。然レ共第二十四師團ノ一部ハ午後ニ至ルモ依  
然小橋川津花坡呉屋附近ニ在ル旨ノ報告ニ持ス  
ハ四日夜独立第四十四旅團ハ主力ヲ翁長高地ノ線ニ一  
部ヲ棚原一四三高地ニ推進スルニ決ス  
二四日午後ニ至ルヤ第一線ト後方トノ間ハ砲爆撃ニ依  
リ遮断セラレ第一線大隊ノ状況明カナラス

軍力本部一〇部ニ於テハ依然ト  
モ軍ハ依然決心ニ変化ナリ依然攻撃ヲ續行スル如ク  
指導ス  
五五朝迄ニ棚原北側一五四、九高地ニ進出セリ  
又攻撃中止ノ状況  
五五朝第二十四師團ノ報告ニ依レハ其ノ排長カ

師團ニ於テハ一部攻撃成功ノ外ハ一〇名至一〇名  
長ノ損害飛リト此ニ於テ軍ハ依然其儘或ハ規模ヲ縮  
少シテ攻勢ヲ續行スヘキヤ損害ノ状況ニ鑑ミ攻撃ヲ  
中止スヘキヤニ関シ仔細ナル検討ヲ加ヘタル結果一  
八〇口攻撃中止ヲ命シ旧陣地ニ於テ最後ノ出血作戦  
ヲ敵ニ強要センコトニ決ス

隊ヲ派遣セラルルハ一〇名至一〇名ト  
攻撃中止ノ旨ハ一〇名ト頃傳達セラル  
尚軍砲隊等隊ヲ既ニ攻撃南射撃ハ午後ニ至リ向モ

3. 攻撃直後ノ状況  
七日期迄ニ第二十四師團ハ概不旧陣地ニ態勢ヲ復

歸セリ

□ 第二十四師團ノ報告ニ依レバ棚原ニ進出セル大隊ハ極メテ有利ナル戦闘ヲ実施シ七日再ビ敵線ヲ突破シテ歸還シ損害僅カ數名ナリ  
上原方面ニ進出セル部隊モ右ト概不同様ナリト。  
又海上挺進部隊ハ殆ド無血上陸シ有利ナル戦闘ヲ実施シ且始メテ使用セシ戰車部隊亦前田高地ニ於テ四日終日有利ナル戦闘ヲ續行シアリタリ

41

本報告ハ蓋シ五日ニ於ケル報告ト極メテ矛盾スルモノナリ此ノ狀況ニシテ五日午後判明センカ必ズヤ攻勢ハ志氣旺盛ノ下ニ繼續セラレ幾多有利ナル戦闘ヲ現出シ得タルナルベキニ惜ムベシ軍ハ最後必死ノ

攻勢ニ方リ之ヲ過早ニ中止セシムルノ止ヲ得ザル運命ヲ辿レリ

42



十 首里最後ノ攻防ト南方地区戦線轉移ノ経緯

首里防禦態勢ニ関スル軍ノ見解ニ就テ攻撃中止後

軍ハ以テ飽ク迄翼ヲ張り後方部隊ヲ投入シツ、持久ス

ベキヤ戦力ヲ集約シツ、首里周邊ニ圓形複廓陣地のニ

態勢ヲ整備スベキヤニ就キ檢討中後者ハ敵ニ包圍態勢

ヨリスル勝利感ヲ與ヘテ海軍支援中給ハルル航空ニ依ル

船艦攻撃ヲ困難ナラシムルコト無キヲ保テ以テ前者ノ方式ニ依

リ敵ヲシテ進ハズルニ力攻セシムル此間艦船群ヲ吸引牽

制シ天号航空作戦ヲ有利ニ續行セシメントスルニ決マ

リ

2、此処ニ於テ特設聯隊船舶部隊海上挺進基地部隊貨

物廠等ニ依リ臨時編成ス茲ニ海軍部隊ノ一部ヲ全面的

ニ前方ニ推進シ戦線確保ニ努力ス

五月九日再々敵ハ全線<sup>目的</sup>攻勢開始セシルモ幸地  
 以東ハ主陣地ノ線以西ハ前田南方無名部落ノ経塚北端  
 一安波茶西方高地ノ線ヲ確保シアリ内閣ハ遂ニ奪取セ  
 ラル

十日安謝附近ニ對シ敵ハ舟艇ニ依リ上陸ス十二日  
 敵ハ那霸北方安謝附近ニ第大海兵師團ヲ投入シ我カ左  
 翼ヲ压迫シツ、首里ニ近迫シツ、アリ十三日終日天久  
 西方台ノ高橋町一崇元寺町一安里各北側台一眞嘉比西  
 北無名高地附近ノ線ヲ保持シ敵ノ滲透攻撃ヲ阻止ス  
 ハ、軍ハ敵ノ攻撃ヲ阻止シテ首里東西ノ線ノ確保ニ努  
 カシタルモ十四日夜ニ至リ遂ニ経塚及経塚附近平良町  
 一大名ノ末吉ノ線ニ後退整理セリ十五日敵ノ強圧ハ依  
 然天久ヨリ那霸方面ニ指向セラレ独立第四十四旅團ノ

援軍亦少カラス十七日早蘇西原村一五〇高地ヲ奪取セ  
 ラル十九日敵ノ攻撃ハ一般ニ低調ナルモ戦線後方ハ依  
 然活況ヲ呈シツ、アリ  
 又、五月二十日ニ於ケル軍ノ戦力別表、如ク軍ハ戦力  
 態勢ヲ整頓シ一層ノ劣血強要ニ努力スルノ方策ヲ考究  
 シ二十日夕茲ニ島尻地區ニ戦線ヲ整理縮少スルニ決セ

別表

(一)

兵團	歩兵	其他	備考
24b	二六〇〇	三七六六	二六〇八五月十日頃戦力激減シ兵数不詳ナリ
44b S	一六〇〇	二三〇〇	其他トハ砲工輕重輸衛生関係部隊ナリ
軍直		四〇〇〇	
海軍		一〇〇〇〇	歩兵中ニ指揮下ニ入りタル他兵種部隊ヲ含ム
計	四二〇〇	二〇一〇〇	

東洋別 調査 依ノ 兵員数 概数 左ノ如シ

作戦開始前	合養兵額	七二〇〇〇
五月二十日迄ノ算清	戦死	二五〇〇〇
	戦傷	一三〇〇〇
	行方不明	
	掌握不能	
掌握兵力		三四〇〇〇

別表 (二)

火器彈藥	数量	作戦開始時
野砲以上	九五門	六〇%
小口砲及迫撃砲	二〇〇門	
MG		30%
彈藥	SA級 一基数 A級 六基数	作戦開始時ハ 一會戰分

5 後方陣地へノ轉移ノ状況  
 1. 二十二日東海岸方面ヨリスル敵ノ滲透急ニシテ今  
 ヤ~~林~~之ヲ阻止シ得ヘキ戰鬪餘力無シニ二三日夜義烈  
 空挺隊北中飛行場ニ着陸攻撃セルモ地上作戦ニ~~揚~~  
 及ホスニ至ラス又天候不良ハ航空特攻攻撃ヲ以テ其ノ  
 戦果ヲ擴張ヤシムルニ至ラス  
 口 二十三日頃ヨリ後方部隊ヲ逐次島尻地区ニ移動ヤ  
 シムニ二十五日第六十二師團ノ主力約二〇〇〇ヲ以テ首  
 里地区ヨリ津嘉山東南方地区ニ轉用集結シ悪天候ヲ利  
 用シテ逆襲ヲ實施シ軍主力ノ轉送ヲ容易ナラシムニ十  
 九日軍主力ハ逐次南下ヲ開始シ有力ナル一部及海軍部  
 隊(小隊)於テハ現陣地ヨリ新陣地ニ至ル間既設陣地ヲ利  
 用シ徹底ヤル地域抵抗ヲ實施ス三十日軍司令部ハ摩文

仁南側八九高地ニ移轉ヲ完了ス三十一日連日ノ雨ヲ冒  
シ敵空地ノ攻撃ニ行動活発ナルモ我砲兵及第一線ノ撤  
退ハ概テ順調ニ進捗ス殘置部隊ハ箱根中程ニ喜望武官  
平東側宮城一三八高地亦田所南側壺尾南側那霸南端ノ  
線ニ於テ敵ト接觸ス六月一日軍ハ概テ態勢轉換ヲ終了  
セルモ敵ハ我力企圖ヲ察知セシモノ、如ク其砲爆撃ハ  
逐次莖屋武半島方面ニ移行ス三日敵ハ追撃活発ナラス  
彼我接觸ノ線ハ概テ箱根北側大寄長堂根差部ノ線ニ在  
リ各兵團砲兵隊主力ハ概テ新陣地内ニ配備ヲ完了ス  
十一 島尾地区直ニ終焉戰劇

I 六月四日ロ五ロハ海軍并備地区タル小祿附近ニ敵  
上陸シ之ニ強圧ヲ加ヘツ、アリ五日敵ハ逐次島尾主陣  
地ニ近接ス具志頭ニハ約ニロロノ敵進歩セルモノ一八ロ

之ヲ擊退セリ八日夜殘置部隊タル歩兵隊二十三聯隊  
主力ハ陣地内ニ撤收ヲ完了セリ十一日主陣地タル安里  
北側高地ノ爭奪熾烈ニシテ又五日以來小祿地区ニ於テ  
奮戦中ナリシ海軍部隊トノ通信杜絶スルニ至ル十二日  
主陣地右翼ニ對スル敵ノ攻撃熾烈ニシテ系滿西方海面  
ヨリスル敵ノ策應行動顯著ナリ即チ水陸兩用戰車三ロ  
眞米里西北海岸ニ上陸ス十七日右翼独立第四十四旅團  
方面ニ第六十二師團ノ残余兵力ヲ投入シ敵ノ突破ヲ封  
止スルニ努メタルモ敵ハ一五七六高地附近ニ滲透ス中  
兵及左翼方面ハ依然主陣地ノ線ニテ死闘ヲ繼續ス  
又前頃ノ如ク軍ハ主力ヲ竭シテ最後ノ奮戦ニ努メシ  
又十七日ニ至リ軍ノ統一戰術困難トナリ各部隊ハ現  
位置ヲ固守シテ局部的戦斗ヲ續行スルノ止ムヲ得サル

ニ至リ軍司令官ハ十九日訣別ノ電報ヲ發ス二十日戦斗  
ハ各部隊ハ所在地ニ於テ繼續シ第二十四師團ハ真栄里  
東方高地真壁北側高地附近ニ尚健斗中ナルモノ如シ  
二十二日ニ到ルヤ軍ト各部隊及大本營間通信杜絶ス斯  
ノ如クシテ作戦開始以來三月敵ニ多大ノ劣血ヲ強要シ  
タル第三十二軍ハ其ノ健斗ヲ依リ爪土作戦準備ニ  
多大ナル貢獻ヲ爲シ神繩本島ニ終焉セリ

伊弉島及國頭方面ノ戦斗

伊弉島及國頭方面ノ戦斗ニ就テハ伊弉島ハ其ノ大  
隊ヲ集メテ指橋下ニ及飛橋場ニ本隊ヲ以テ守備シ城ノ中核  
ノ自島ニ警備ヲ在ル國頭支隊ハ八重岳及吳岳名護岳  
ヲ中核トシテ陣地ヲ確保シ執拗ナル戦闘ニ依リ軍  
戰ニ容易ナラシム

伊弉島南側水納島ニ敵  
一高上陣トテ日伊兵南軍ニ水陸兩軍用戦車ヲ上  
陸可キ能クシ以テ上陸ヲ開始ス十七日ニ  
連井伊弉島ニ上陸セシ兵ヲ戦車入リ兵員ニ  
ヲ國頭支隊ハ同連絡杜絶シテ後合面ノ  
連絡戰ニ轉  
セルモノ如クハ伊弉島ニ連絡確保シヤシ  
低感十九日ニ到リ通信杜絶ス

伊弉島及國頭支隊ハ十八日ヨリ更ニ國頭郡ニ轉進同  
東隊トシテ向ヘルモノニシテ消息不明ナリ  
四 十八日第三遊撃隊約五、名ヲ含む名義兵及志士(第四  
遊撃隊約四、他三航空地区部隊其他及海軍部隊四、  
母艦トシテ遊撃戰ヲ實施ス  
イ 第一七航空地区隊長八尾地区隊第六十二師團被

其後第一中隊ヲ指揮シ居  
部ヲ掌持シ努力シ一人ヲ領  
テ先ニ進軍シテ全隊ヲ  
進軍ニ導ク

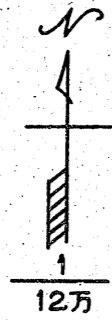
(一) 本後進軍ノ要ヲ連絡者ヲ派遣シテ同部隊  
努力シテ支隊ノ全隊ヲ把握スルニ至ラズ

(二) 本月上旬頭テ面連絡隊ノ食糧自給ノ關係ニ依リ  
十八隊ノ至一分隊ノ兵力ノ分配ニ依リ

其後進軍ノ要ヲ連絡者ヲ派遣シテ同部隊  
努力シテ支隊ノ全隊ヲ把握スルニ至ラズ

沖繩作戰經過要圖 (下1/4 - 1/4)

附圖其十一



0 1K 2K 3K 4K

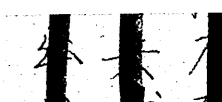
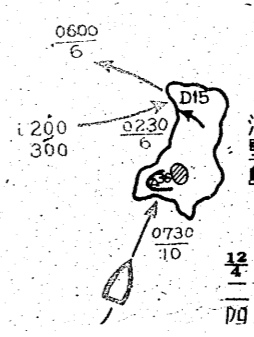
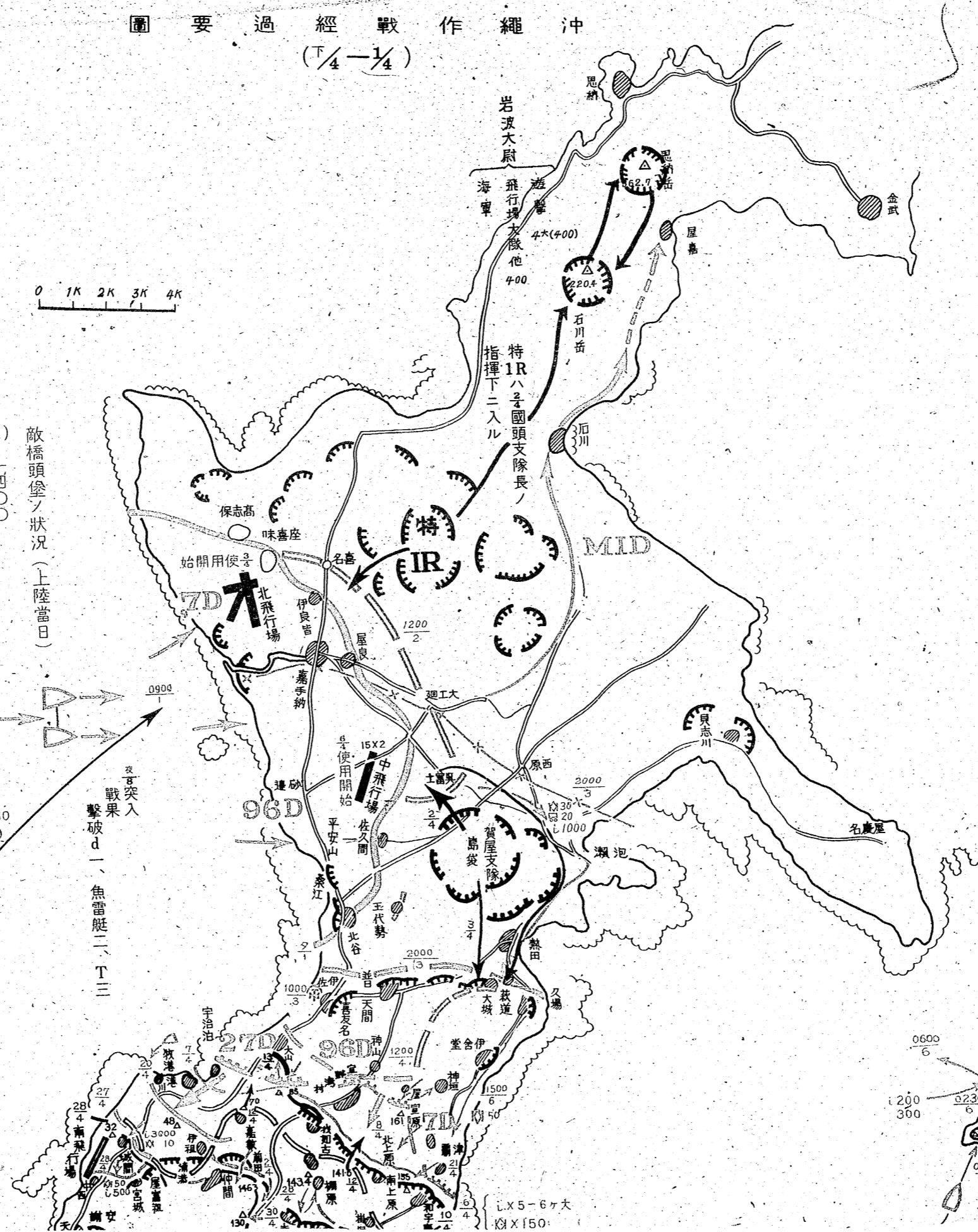
- 敵橋頭堡ノ狀況 (上陸當日)
- (1) 一四〇〇  
北谷—佐久間—中飛行場ノ線  
(正面一六籽、深サ一—三、  
五籽)
  - (2) 夕刻  
北谷—佐久間—吳富士—  
屋良—伊良皆—座喜味ノ  
線  
(正面一六籽深サ五籽)

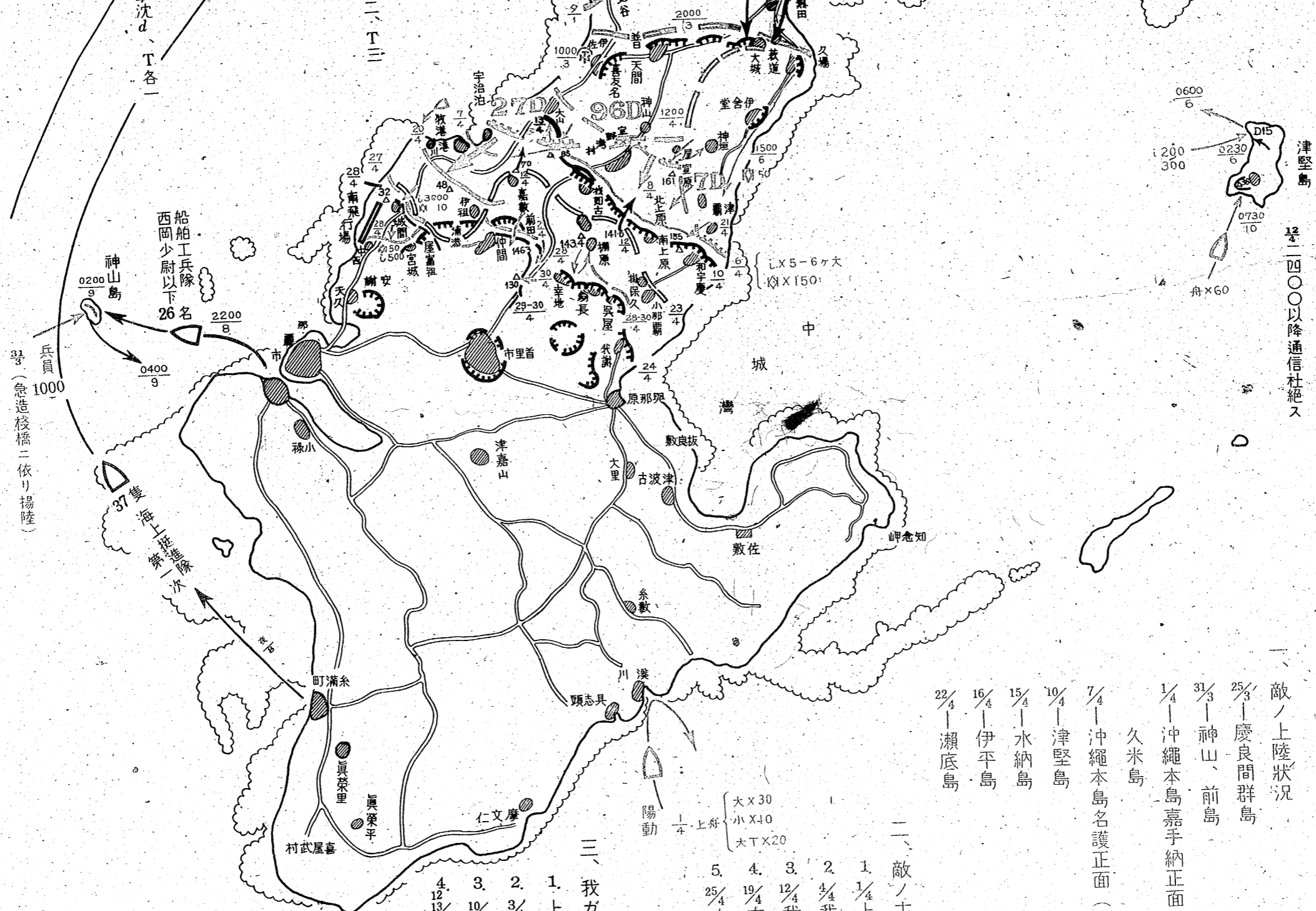
0800  
1/2 一箇師團上陸  
B x 10  
C  
D以下 30  
T x 20  
大 x 150  
小 x 60  
27 第二次  
海上挺進攻撃 13 隻

夜突入  
戰果  
擊沈 d、T 各一

0200  
船舶工兵隊  
西岡少尉以下

夜突入  
戰果  
擊破 d 一、魚雷艇二、T 三





一、敵ノ上陸状況

- 25/3 慶良間群島
- 31/3 神山、前島
- 1/4 沖繩本島嘉手納正面 (二箇師團)
- 久米島
- 7/4 沖繩本島名護正面 (五、〇〇〇)
- 10/4 津堅島
- 15/4 水納島
- 16/4 伊平島
- 22/4 瀬底島

二、敵ノ主要ナル行動 (本島)

- 1 1/4 上陸
- 2 1/4 我方北正面陣地ニ對スル攻撃開始
- 3 12/4 我方主陣地ニ對スル攻撃準備開始
- 4 19/4 主陣地ニ對スル總攻撃開始
- 5 25/4 攻撃再興

三、我方軍ノ狀況

- 1 上陸時特 1Rノ反撃
- 2 3/4 賀屋支隊轉進
- 3 10/4 全線挺進攻撃
- 4 12/13/4 有力ナル挺進攻撃 (二大)

月日	人員殺傷	戦車	損害
1/4	550	18	
7/4	3,600		440
11/4	6,300	178	2100
23/4	18,300	294	

備考 1. 各當日マデノ綜合戦果ナリ

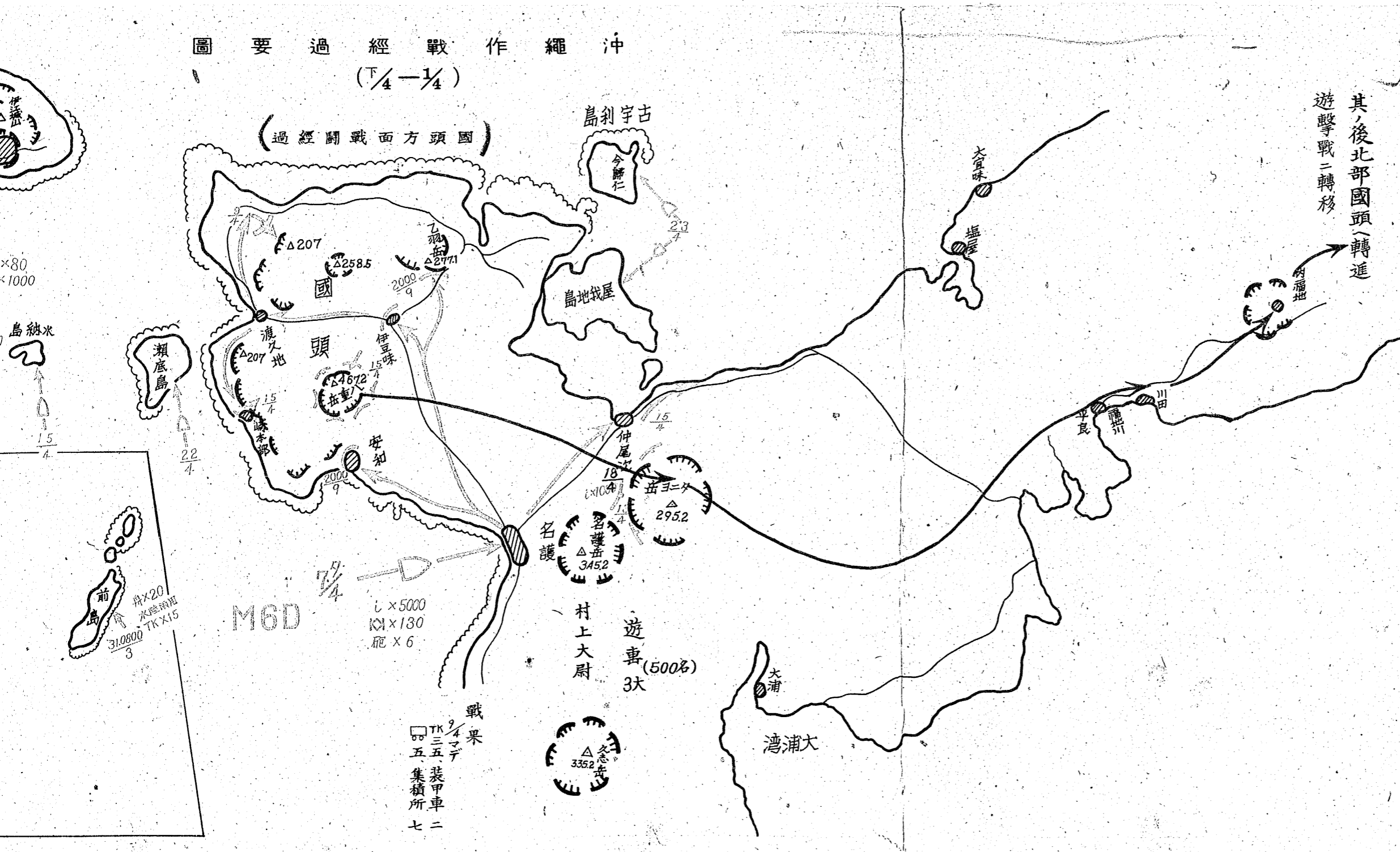
十八隊ノ第一分隊ノ兵力ノ減少  
 且其隊ノ不足ノ自衛隊ノ損傷等ニ依リ  
 積極的戦斗ノ行動ニ本質的ニ差支ルヲ見ル



沖繩作戰經過要圖

(下1/4 - 1/4)

(國頭方面戰鬥經過圖)



其後北部國頭(轉進)  
遊擊戰ニ轉移

M6D

1:5000  
1:130  
1:6

戰果  
TK 三五 裝甲車 二  
五 集積所 七

遊喜 (500名)  
3大

村上大尉

冬念岳  
3352

大浦灣

大浦

名護

名護岳  
3452

仲尾

18  
104

15  
4

23

島刺宇古

今歸仁

島地我屋

乙羽岳  
2771

258.5

△207

渡久地

△207

15  
4

2000  
9

22  
4

15  
4

15  
4

15  
4

15  
4

15  
4

15  
4

15  
4

15  
4

15  
4

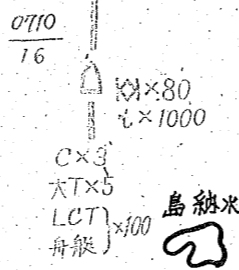
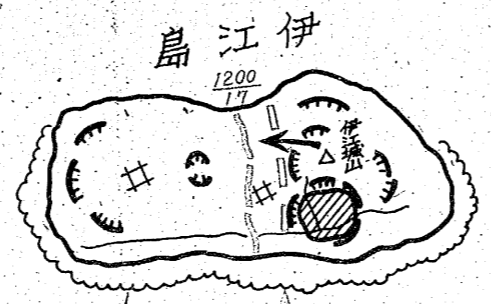
15  
4

15  
4

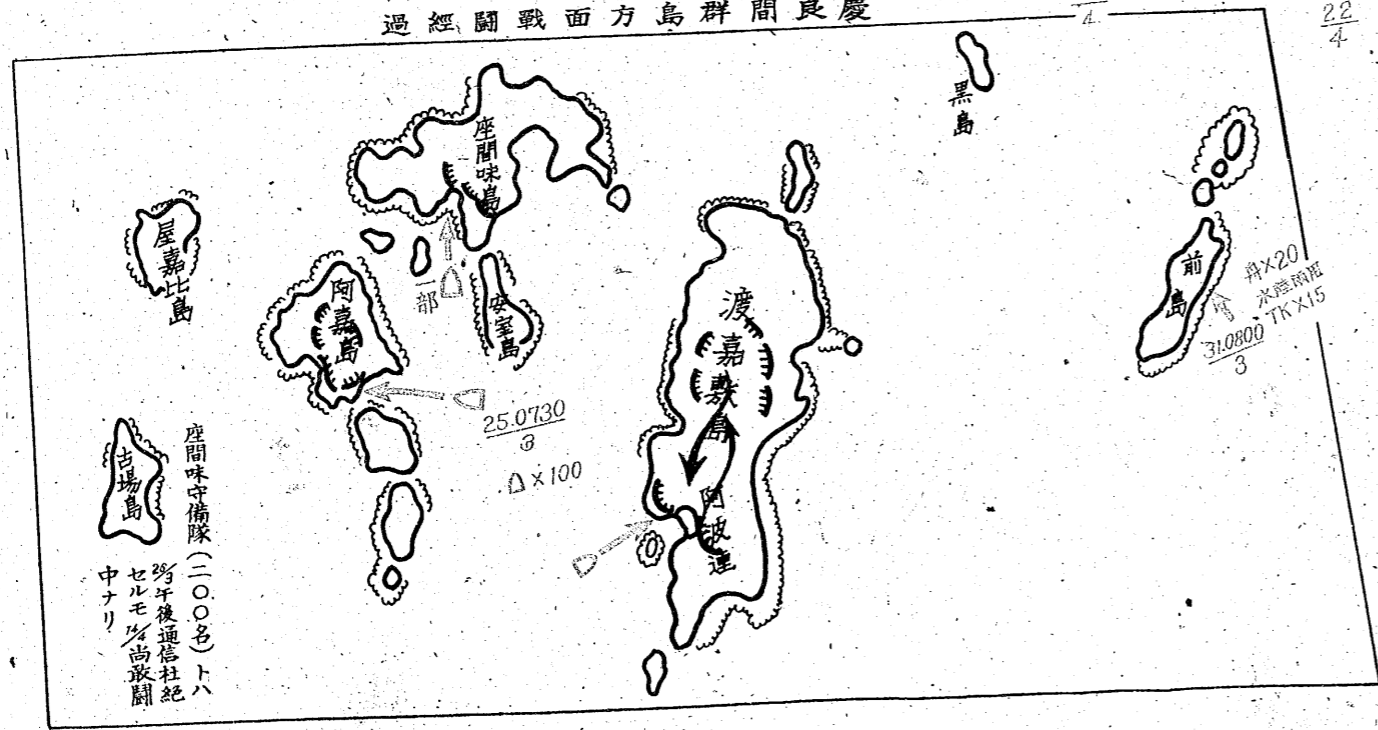
附圖



0 1K 2K 3K

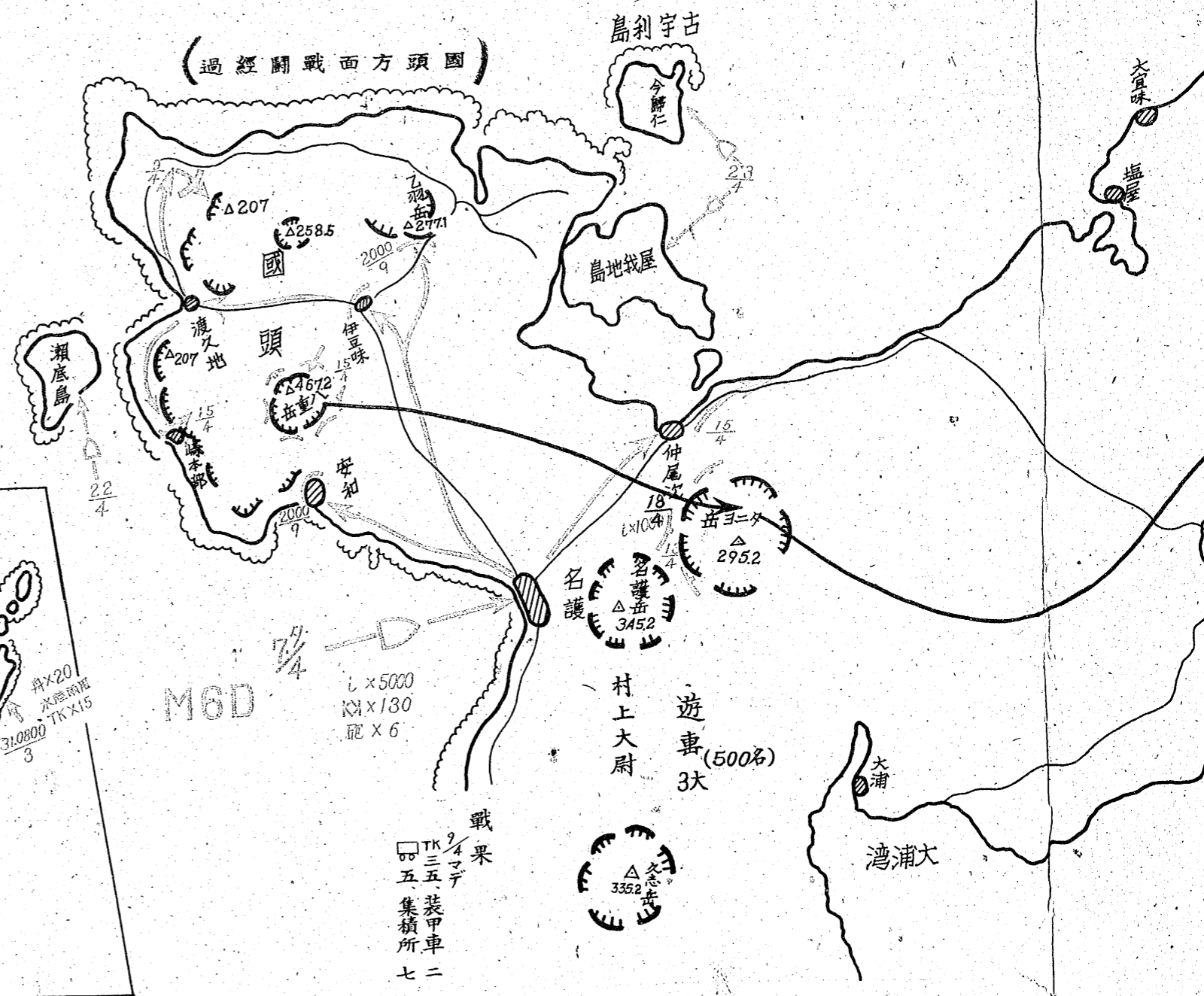


過經關戰面方島群間良慶



圖要過經戰作繩沖 (下1/4-1/4)

(過經關戰面方頭圖)



M6D

戦果  
TK 3/4マテ  
五五集積所 七二